

開創1521年(大永元年) 2024年(503)

新 年 明けましておめでとうございます。

の活動 そうです。 今年 13 は 甲辰 力を注ぎ、 松 源 (きのえたつ)で縁 寺では 年 今 年 間 行 事 か ら K b 本 格 起 詠 讃 的 0) 歌 12 11 梅 を 11 取 歳 花 だ 流 n

にしていきたいと存じます。 ま た、 併せて婦人会も広くご参加頂け るよう

入れたいと考えます。

ご多幸をご祈念い 開 創 五 百三年を迎え、 たします。 檀 家 0 皆様 のご繁栄



鑑み、 の設置 0) 13 11月3日に表彰されました。 防災訓練」 ます。 登録。 これらの活動を評価され 松源寺では寺院の公益性を 地域防災に力を注いで 青葉土樋町内会共催 『がんばる避難 境内に A E D 流所

## 大輝のつぶやき

とが 行わ 格的 壇 昨 お 梅 年記念宮城県奉賛大会という節目の年に登 0 願 花に 年の 中 奉詠する大変貴重な経験を致しました。 新 出 に習 'n い致します。 で 年 今回 来 奉詠できたらと思 は 5月より宗務所養成所にて梅花を本 明けましておめでとうございます。 まし 階 1 始 師範補という教階に合格するこ 級 め た。 が8段階 10月3日梅花流創立七 今年 度 あ も研 1 ŋ ますので宜 鑽 11月に検定が でを積 み 十 行 周



# 一族とは遺された者のつとめ

葬儀は家族・親戚・友人 などご縁があった人が、故 などご縁があった人が、故 す。また単なる儀礼ではな す。また単なる儀礼ではな く、故人さまが仏さまの弟 く、故人さすが仏さまの弟

い作御備にと代でる礼し代あわ やく シ (わり御記会葬御 礼し代 ヤ でしょうか? を わ る かりお別れ は人の人も りお別れ かました を目 御礼申し上 葬儀会館 礼で「亡き父 「にする 0) が のる生の族 0) 一げます」 で時最場はは間後を故 家事 コ 水族がなって なをの準人 使葬多

思良ご本寄すがかで

でれ人言と礼生縁わ をのに言終よ n ない て のつとめに 養 0) わ でしょうか。 すること りて ず で 0) 1) に、誰に、 意 す L よう 味 す。 0) か葬 なは せ 12 き様 ? 儀 る残 る もた 々 のさ故とこお人な

三点

聚じ

浄ま

十岁

禁丸

戒が

摄s

律り

儀ぎ

戒が

堂付が求らす生はたをえはもで、め小かさな者供る本 いい相 がまます。 がままれます。 はなままれます。 さてる人の方がら。と費用のおれていると を 送頂 りけ がれす。出ば 出ば、 生庫檀よののが 来 よ前裏家う葬問大 る とりにやので儀題事

> 懺え 悔げ 文を

我れ昔より造る所の諸々の悪楽はれ 昔 所 造 諸 悪 業

無む

帰き

依ぇ

依ぇ

文を

A 食り膨り擬かざとに由りて A 食り 覧り 擬 無 始 食 瞋 癡 瞋ん 癡ぉ

懺だ 帰き 帰፥ 依ぇ

帰き 帰き 南な 帰፥ 南☞ 依礼 依ぇ 依礼 依礼 無む 無む 仏ぶ 僧を 仏き 仏ざ 帰き 帰፥ 竟鬱 和ゎ 離り 無む 依え 依ぇ **合**页 塵な 上紫 僧き 法質 尊ん 尊え 尊ん

み弟子とともに精進いたします争いなき和合の み仏を信じ尽くします

み仏の教えを信じ尽くします

竟鬱

依礼

僧を 法質 我» 一いれ かい 今輩 **切**ぎ 我が 今点 皆か

十六条のご戒法

第卷 第卷 第卷 第卷 第卷 第卷 第卷 第卷 第卷 九く八隻 七と 六き 五二四レ 三章 二二一と **不。不。不。不。不。不。不。不。不。** 瞋』と慳は自じ説も酤こ妄も貪と偸い殺さ 患い 法質 讃え 過か 酒い 語ご 婬ん 盗を 生き 宝雪 戒於 財於 毀者 戒於 戒於 戒於 戒於 戒於

> 酒に溺れてはならない うそ偽りを言ってはならない

衆は

生岩

戒が

善扰

法質

戒が

戒さ

戒な 他た

盗みや不正を犯してはならない

## 荷 事 報 告





秋のタベコンサート9月3日 観音堂御開帳供養















御光背建立供養祭11月11日 永代墓地観音様の

3

0

**\** 



## 4月8日 降誕会

お釈迦さまの誕生日



## 12月8日 成道会

お釈迦さまがお悟りを ひらかれた日



## 2月15日 涅槃会

お釈迦さまがお亡く なりになった日



## ジャズシンガー 平賀 マリカ

華やかなエンターティメント性と確かな ボーカリスト。

## 令和6年3月11日 日程

15 時 45 分~挨拶

16 時 00 分~法要

16時30分~コンサート

キャンドルナイト 17 時 30 分点火

11祈りのつどい 告 知

年会費 3,000円 会監監副会 会 長 査 査 長

東戸戸山及宮佐山梅海田田内川澤藤内原

美津枝 裕子 トシ子 ハマ子

年会費 10.000円 会 副 会 会 長 計 長 長

松屋 小崎 太田 石田 茂正 和行降守洋 憲郎

五月

**研修旅行** 

六月

## 永松会

住 表役員 宗教法人 松源寺責任役員 東海 金雄 泰典

十 二 月 十 十月

日

十二月八日

開かれた日) 成道会(お釈迦様がお悟りを

永松会忘年会

太祖降誕会(瑩山禅師 永代墓地供養祭

の誕生

二十九日 秋のタベコンサート観音堂御開帳供養

九月十九~二十五日 秋彼岸 がお亡くなりになられた日)両祖忌(道元禅師・瑩山禅師

三十分打出し)

ハ月十四日

防災訓練(青葉土樋町内会 道場) 教区護持会研修会(特派布教 氷松だより第二十六号発刊

七月十日

四月八日

婦人会総会 降誕会(お釈迦様の生まれた

二十日 十七~二十三日 春彼岸 尚命日 当山三十四世智貫孝善大和

3 11を忘れないコンサート東日本大震災慰霊法要

三月十一日

られた日) 涅槃会(お釈迦様が亡くな 永松会·婦人会新年会 永松だより第二十五号発刊

(道元禅師の誕生日)

一月十五日

令和六年 年間行事計画

二十六日 高祖 解析 議会

松源寺のホームページをご覧ください。

松源寺

検索 http://shougenji.jp/